



第6回「知名町食の文化祭」が、12月6日、フローラル館でありました。平成14年に九州で初めて女性町長になられた、元杷木（はき）町長の中嶋玲子氏による「今こそ活かそう、農村に私たちの力を!!」と題した講演では、自らも農業者である中嶋氏が、農業・農村の将来に対する危機感を目の当たり

知名町の『食』が大集合！

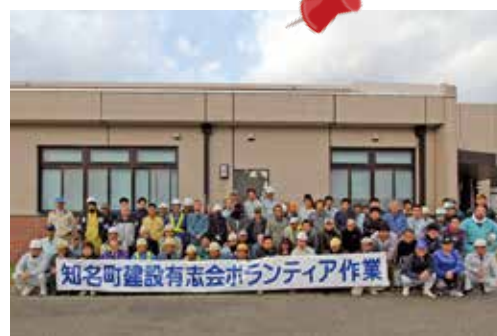


にしたことで、女性農業者の視点からの地域活性化や女性の地位向上に力を注いできたことなどを話されました。食の文化祭ではこのほか、シマ桑を使ったアイデア料理や田芋もち作りなどがあり、田芋もち作りでは、多くの子供たちが楽しそうにもちつきを体験していました。



沖永良部地区在宅医療講演会が、12月6日、あしびの郷・ちなであり、東京で在宅医療に取り組む川越厚氏と妻の博美氏が「できるだけ家で過ごしたい」と題し、それぞれ講演されました。講演会には、多くの方が来場しており、これからの島での看取りについて考えを深めていました。

これからの島での看取りを考える



建設有志会ボランティア作業が、12月5日に行われました。今回は水道・電気工事店も加わり、総勢100名を超える皆さんが、町道や農道、公共施設周辺の伐採作業等を行いました。昨年7月と今回の作業で、道路の見通しがすっきりし、通行しやすくなりました。

建設有志会ボランティア作業



子育て広場あしBee~Naのクリスマス会が、12月19日、保健センターであり、親子で総勢58名の参加者が、紙人形劇や親子ダンスを楽しみました。最後にはお待ちかねのサンタさんからのプレゼントがあり、手渡されたプレゼントに子供たちは大喜びしていました。

サンタさんからのプレゼントに大喜び



沖永良部島漁協と農協女性部・青壮年部合同による魚、野菜、花きの年末大バーゲンが、12月23日、Aコープ知名店でありました。このイベントは、水産物・農産物の地産地消の推進等を目的に行われたもので、多くの方が新鮮な魚や野菜、花きなどを買い求めていました。

地産地消の推進